

あじさいは、
シーボルトも
愛した花でした。



おたくさ
ながさき紫陽花まつり

国外追放の身となって最愛の人と引き裂かれたシーボルト。彼は、大好きなあじさいに愛する女性「お滝さん」の名前から「オタクサ」と学名をつけ、ヨーロッパに紹介しました。色とりどりの約3,800株のあじさいを市内各所で観賞することができます。

期間 5月20日(土)～6月11日(日)
場所 中島川周辺、シーボルト記念館、出島、グラバー園など
問い合わせ あじさいコール ☎822-8888

おたくさ
ながさき紫陽花さるく

I シーボルトと愛のお滝さん花～眼鏡橋渡って、興福寺へ～
II シーボルトの寄り道～あじさいの里 鳴滝散歩～
彼らにまつわる場所を訪ね、二人の愛の証「あじさい」の花々をお楽しみください。

期間 5月20日(土)～6月11日(日)の金・土・日
時間 I 午後2時～4時 II 午前10時～正午
場所(集合) 出島 **定員** 各10人
参加費 中学生以上1,000円 小学生500円
申し込み 電話(☎811-0369)かホームページ「長崎さるく」で
申し込み(期限) 前日の午後5時
問い合わせ先 長崎国際観光コンベンション協会

おたくさ
長崎そっぷ 紫陽花まつり限定!

“そっぷ”とは、オランダ語でスープのこと。鎖国時代、出島のオランダ商館で食べられていたスープを、長崎の魚を使って現代風にアレンジした新・ご当地グルメが「長崎そっぷ」です。
ながさき紫陽花まつり期間中、会場周辺の店舗で、あじさいをイメージした各店自慢の紫陽花まつり限定「長崎そっぷ」をぜひ一度ご賞味あれ!

問い合わせ 水産農林政策課 ☎820-6562



候補
世界遺産 探訪 ～長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産～

全12回シリーズで長崎市の構成資産を中心に「潜伏キリシタン関連遺産」をわかりやすく紹介します。

第2回「潜伏キリシタン」とは

16世紀のキリスト教の宣教によって誕生した日本人信徒は、ポルトガル語を語源とする「キリシタン」と呼ばれていました。
その後、禁教時代に入ると、信徒たちは表向きは仏教徒や神社の氏子として生活しながら、密かに独自の信仰を続けました。こうした人々を「潜伏キリシタン」と呼んでいます。
さらに、キリスト教の信仰が自由になった後もカトリックに復帰せず、禁教時代の独自の信仰形態を継承している人々を「かくれキリシタン」と呼んでいます。



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

